

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

February / 8 / 2019 # 71

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『Concertino by F.David』

[2] Pepeのひとりごと

『バランス』

[3] おすすめ動画

『レスピーギ「ローマの松」 ニューヨークフィル』

『Mr. Jums for brass - Brass of the Royal Concertgebouw Orchestra』

[4] 演奏のヒント！

『アンサンブルの経験』

[5] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『Concertino by F.David』

先月ここに書いた、関西フィルの首席Tromboneの風早くんがオーケストラとソロを演奏したコンサートを、先日聴いてきました。 :)  
コンサートは満員御礼で、前半でとてもいい感じに温まってからのソリスト登場！

聴いてから思ったのですが、よく考えるとオーケストラとのF.David作曲のConcertinoを生で聴くのは初めてな気がします（オーケストラと演奏したことはあったけど）。 :)

いやあ、いい曲ですね！

「前奏が長い曲」という印象を持っていたのですが、自分が（ソロを）演奏する側と、聴く側とでは違うのだなあ、と初めて気づきました（笑）。

前奏、長いとは感じませんでした。：)

演奏は、とてもきれいな音でまとまっていて、素晴らしかったです。：D

風早くん、Bravo～！！：D

## [2] Pepeのひとりごと

### 『バランス』

去年の9月から、オーケストラの活動が忙しくなっていました。

1月の真ん中までは本当にみっちり、12月の中頃は、翌日のスケジュールを頭の中に入れることで精一杯な時もあったくらいです（笑）。

そういうときに困るのは、TromboneとEuphoniumのバランスをとること。

・・・ま、あまりこういう悩みがある人はいないと思いますが（笑）、今回は、なにか2つの違う楽器を同時にやっている人向けの話だと思ってください。

そこで、僕が気にしていることは、

### 「ムリをしないこと」

今回の僕のケースでは、日常のオーケストラが忙しかったので、どうしてもTromboneの割合のほうが大きくなっていました。

そういうときに、時間や身体にムリをしてEuphoniumの練習時間を取らないこと。

練習をすると一種の安心感が得られはしますが、それは自分が幸せを

「その時だけ」感じることであって、結果としてはあまりよくない場合もあると思います（あくまでも僕の個人的な考えです）。

そういうときには、ムリをしない。

どちらかにバランスが偏っていても、あまりにもスケジュールがキツイときはムリをしないで、その楽器に集中することをおすすめします。

でも、日常でバランスが崩れてきてるときには、ちゃんと両方共にそれなりの時間を費やすようにしてバランスを取ったほうがいいですよ。

## [3] おすすめ動画

『レスピーギ「ローマの松」 ニューヨークフィル』

<https://www.youtube.com/watch?v=bKFRXjv2Bjs&index=2&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=8s>

今月の1つ目の動画は、O.Respighi作曲の「ローマの松」です。  
この曲、今月17日（日）に和歌山でのコンサートで演奏するんです。  
偶然、すてきな演奏を見つけたので、紹介しますね。

演奏は、New York Philharmonic。  
演奏が素晴らしいと、曲の素晴らしさもよくわかりますね！ :)

『Mr. Jums for brass - Brass of the Royal Concertgebouw Orchestra』  
<https://www.youtube.com/watch?v=eggWMqoktLY&index=3&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s>

2つ目の動画は、ブラス・アンサンブルです。  
Royal Concertgebouw Orchestraのブラスのメンバーの演奏です。  
いやあ、気持ちよさそうですね～。  
アンサンブル、やりたいなあ……。 :)

#### [4] 演奏のヒント！

##### 『アンサンブルの経験』

よく言われる言葉の中に、「合奏はアンサンブルの集合体」というものがありますね。  
本当にそうだと思います。

吹奏楽やオーケストラなどの合奏体の中で「いい仕事」をするためには、アンサンブル能力が重要になってきます。

そのアンサンブル能力を高めるためには何が役に立つでしょう？  
僕は、何より「経験」だと思います。

どんなに勉強をしているいろいろな知識を得たところで、実際に経験しないとわからないことが山のようにあると思います。

先日、僕の教えているESA音楽学院でのグループ・レッスンで、簡単なデュオの曲を初見でやりながら、アンサンブルをしていきました。  
やればやるほど、いろんなことが同時に（すぐに）できるようになってくるものです。 :)

デュオ（2重奏）でも、いろいろな勉強、経験をすることができますので、ぜひ少しでもできそうであれば、いろいろとやってみてください（別に、

自分の楽器の楽譜でなくてもいいんですよ！)。

そして、自分のパートを演奏しながら他のパートの音を聴く、動きを感じる  
ことができるように練習してみましょう。

いろいろなことが聴こえてくると、もっと合奏が楽しくなってきますよ！！:)

---

#### 編集後記

昨日は、オーケストラの松山（愛媛）公演でした。  
僕は松山で生まれ育ったので、故郷での公演となりました。

コンサートには、昔から応援してくれている人たちがたくさん聴きに  
来てくれていて、オーケストラの中で演奏している姿を見てもらえて、  
ほんの少し恩返しが出きたかな、と感じました。  
本当に「感謝」の一言ですね。

これまで、本当にいろいろな方から支えてもらっていて、今の活動があります。  
そのことを改めて実感することができました。

これからも、それを常に自分の芯に置き、ますます活発に活動していこう  
と思います！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)

---

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>